

いわきバスケットボール協会大会開催ガイドライン

1. はじめに

- (1) 本ガイドラインは、県大会・各地区大会およびカップ戦・フェスティバル大会に適用する。カップ戦・フェスティバル大会を開催する際は、事前に県協会、開催地区協会に要項とともに連絡をする。
- (2) 本ガイドラインは、政府の方針や上位団体の示すガイドラインに変更があった場合や本協会が必要と判断した場合には改訂を行うものとする。

2. 以下の事項に該当する場合は入場しない

- (1) 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
- (2) 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。
- (3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

3. 体育館入場する際の注意事項

- (1) 必ずマスクを着用する。
- (2) 検温をする。
- (3) 健康チェックシートを記入する（チェックシートは3ヶ月保存）。
- (4) 選手は必ず大会参加同意書を提出する。
- (5) 入場の前に手洗いや手指消毒をする。
- (6) 主催者が示す注意事項を遵守する。

4. 体育館内での注意事項

- (1) マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- (2) こまめに手洗い、手指消毒をする。
- (3) 更衣室は、密にならないよう配慮し着替えを終えたら速やかに退室する。
- (4) トイレの後は手洗いをしっかりする。
- (5) 水分補給以外の飲食は、指定された場所以外ではしない。
- (6) 観客については、原則無観客とする。U12部会は別に定める。

5. 試合での注意事項

- (1) アップは屋外を原則とする。
- (2) 前試合のハーフタイムでの練習はしない。換気や除菌等を優先する。
- (3) 試合終了後、選手が退場した後に次のチームの選手が入場する（入口と出口を分ける）。
- (4) コート上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。
- (5) 試合前後または試合中に握手、ハイタッチ、抱擁等の接触は避ける。
- (6) ボトル、タオル等は他の選手と共用しない。周知徹底する。
- (7) 指導者、スタッフ、ベンチに座る選手は着用し、できるだけ間隔を空けて座る。TO、CKも、マスクを着用する。
- (8) 試合終了後は、TO、補助員等の業務がなければ速やかに退場する。
- (9) チームのゴミは各チームで、個人のゴミは各自で必ず持ち帰り適切に処分する。

6. 主催者側の注意事項

- (1) 試合と試合の間は、除菌作業も含め20分程度空ける。アップは20分行う。
- (2) U12・U15・U18ではコロナウイルス対策等の業務は成人の関係者が責任者となり対応する。
- (3) マスクの着用、手洗い、手指消毒、ソーシャルディスタンス等の注意事項の掲示をする
- (4) 会場の備品、ドアノブ、トイレ等の消毒をこまめにする。
- (5) 試合間、ハーフタイム等でできるだけ換気をする。
- (6) 審判は、原則1日1試合とする。状況によっては、2試合の場合もあり得る。
- (7) 帰宅後14日以内に運営に関わった人の中から感染者が出た場合は、(一社)福島県バスケットボール協会に報告する。また、参加チームの申込み責任者にその旨伝える。

※総合体育館等の市体育施設と県立学校体育館等の施設環境が違うので、それぞれの施設に応じた対応をすることが望ましい。

いわきバスケットボール協会
会長 長 沢 武 幸